

令和5年度 入学式

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご参列の保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は誠にありがとうございます。心よりお慶び申し上げます。

さて、本校は、5年前の平成30年4月に開校した学校で、本校の校名の「みらい創生」という言葉には、生徒のみなさん一人一人が、教職員と一緒に、自らのかけがいのない「みらい」を主体的に創り出してほしいという、強い願いが込められています。

また、本校の校歌は、「ひろしま文化大使」で、ビオラ奏者の沖田孝司さんが、作詞、作曲していただきましたが、この歌詞の中にも、「僕らは創るみらいを創る」、「唯一無二の自分の世界」、「我が人生己が力で切り拓く」、など、校名に込められたのと同じ思いが、ちりばめられています。

新入生の皆さんはこれから自分自身の未来をどのように創っていかうと考えていますか？未来に向かってどのように人生を切り拓いていかうと考えていますか？

アメリカの企業家で、IBMやコカ・コーラなどの一流企業のコンサルタントとして活躍し、『億万長者製造法』や『逆境は天からの贈り物』などの著者でもあるジム・ローンは、次のような言葉を残しています。

「人生は一夜で変えることはできないが、あなたが進む方向は一夜で変えられる」

自分の人生をこれまでとは全く違うものに、一夜にして変えることはできなくとも、自分が進もうとする方向は、自分の力で今すぐにも変えることができる、という意味です。

これまでうまくいかなかったから自信がないとか、今さら無理だと、思っている人はいませんか？

誰でも新たな一步を踏み出すことは、とても勇気がいることです。

しかし、何かを変えたいと思った時、勇気を出して新しい一步を踏み出さない限り、何も変えることはできません。

大切なのは、自分の望む「未来」に視点を合わせ、その実現に向けて自分を信じ、チャレンジをしていくことです。

本校には皆さんのチャレンジをサポートする様々な仕組みがあります。そして、本校の先生方は、皆さんの未来に向けたチャレンジをしっかりサポートしていきます。分からないことや困ったことがあれば、一人で悩まずにいつでも相談してください。

そして、本校を卒業するときには、「広島みらい創生高等学校で学んでよかった」「私の母校は広島みらい創生高等学校です」と、大きく胸を張って言えるようになってください。

今日、ここから始まる新しい「広島みらい創生高等学校」での日々が、輝きを持った学校生活となり、未来を切り拓く礎となることを祈念し、式辞といたします。

令和5年4月7日

広島市立広島みらい創生高等学校長 井林 秀樹